

移住・定住促進についての政策提言書

1 移住・定住促進施策として取り組むべきもの

(1) 情報発信の活性化

移住・定住を希望している方々に、その方々が求める情報や本市の魅力を伝える情報を届けることができるように、より積極的に市ホームページ、SNS等を活用するほか、メディアに対して上手に発信することが重要と考えます。

情報発信は、動画を含めた様々なメディアで行い、市・移住者・地区住民・学生などからの多様な情報を発信することが移住者増加に有効な方策となるものと考えます。これにあたっては、市だけでなく、地元企業、報道各社、CATV局などの協力を得るよう努めることが必要と考えます。

(2) 移住希望者向けガイドブックの作成

施策ごとの資料がそれぞれに作成されている状況にありますが、移住希望者が求める本市の各種施策に関する情報、あわせて、移住者、地区住民、学生などからの情報を一冊にまとめたガイドブックを作成することで、移住希望者の利便性を高めることが必要と考えます。

(3) 移住者ネットワークの組織化と活用

本市への移住者同志が組織を作り、意見交換、情報交換できるようにすることで、その後の組織を活用した施策展開の基盤とすることが重要と考えます。これについては、そのような移住者の声をお聞きしています。

移住者ネットワークから移住希望者に対して情報を提供する仕組みを作ることでより移住者の立場に立った情報を伝えることができ、移住者の増につながると考えます。

また、移住者と学生の大学等での交流を図ることも学生の定住に向けたきっかけとなるものと考えます。

(4) 地域との交流の活発化

移住者、移住希望者、学生などと地域住民との交流を活発化することで、人と人のつながりが生まれ、移住・定住へのきっかけとなり地域も活性化していくことが期待されると考えます。

また、地域ごとの特性に合った地域のキーマンとなるような移住者の募集を検討することも移住者による地域の活性化につながると考えます。

(5) お試し暮らし体験の充実

移住希望者、学生などが米沢暮らしを体験する場を多くの地区に広げて提供することは、米沢の良さを体感する場の広がりのために重要と考えます。

2 市の魅力を高める施策として取り組むべきもの

(1) 就職先の紹介

移住希望者向けの就職先の紹介の拡充を行うことで、移住の経済的基盤の確保に資することができると思います。

また、学生の本市での就職を促すインターンシップなどの拡充を図ることが、学生の定住のきっかけとなるものと考えます。

(2) 空き家の活用

空き家バンクを有効に活用できるようにすることと、空き家、空き部屋の活用や、シェアハウスとしての活用に協力する体制を作ることで、移住者の住まいの面での基盤づくりに資することが必要と考えます。

また、古民家を改修した住まいも全国的に注目を集めており研究が必要と考えます。

(3) 交通機関の充実

免許返納者、自家用車を持たない人が困らない交通体系をつくり、魅力ある居住環境を作るべきものと考えます。それに向けて、まずは、バス、デマンドタクシーなどの充実を図ることが必要と考えます。

(4) 教育の充実

子育て世代が安心できる教育の充実を図ることで、安心して本市での居住を選択していただけるようにすべきと考えます。

また、奨学金を受給した者が本市に就職した場合に返還不要となる市独自の給付型奨学金の仕組みを設けることで、本市への定住を促すことが必要と考えます。

以上のような施策の実現を図られますよう強く求め、政策提言といたします。